



芦安中学校だより

第 13 号

校長 大石 浩雄

2025. 11. 10

11月になり、朝夕寒さを感じる日が増えました。周囲の木々も本格的に紅葉してきています。学校でも朝の寒い時間帯にストーブを使うようになりましたが、生徒たちには寒さに負けず元気であってほしいと思います。

☆バドミントン部の県新人大会

10月25日(土)にバドミントン部1・2年生が出場する県新人大会が実施されました。この大会に向け一人一人が練習に取り組んできました。男子シングルの1名、女子シングルスに2名、女子ダブルスに1ペアが試合に臨みましたが、残念ながら初戦敗退となってしまいました。ただ、観戦した試合の様子から7月の大会時に比べ技術面や戦術面での進歩がみられ、練習の成果を感じることができました。

同じ試合を観戦した保護者さんから聞いた話ですが、生徒の中には自分の試合のビデオを見返す中で、自分のプレーの課題に気づき練習にいかしていたということもあったようです。とても素晴らしいことだと思います。

部活動に限ったことではありませんが、自分の姿を客観的に見て課題に気づくことは、成長や変化の第一歩だと言えます。中学生くらいの年代は、自分中心の視点から相手の視点や第三者の視点についても考えられるようになる時だと思います。今回の経験を色々なところにいかしてもらえるといいと思います。

☆埴原先生の合唱指導を受けました

10月29日(水)と11月5日(水)の午後、白峰祭に向けて、合唱指導で高名な埴原美枝子先生を講師に招いて練習を行いました。

今年の合唱曲は「地球星歌(ちきゅうせい)〜笑顔のために〜」という曲です。生徒たちで話し合い決めた曲で、音楽の保坂先生が芦安中の生徒が歌いやすいようにアレンジしてくれました。練習のはじめは少し硬さ

もありましたが、次第に気持ちがほぐれていったようで、のびやかな歌声が校舎に響きました。

1回目の練習の際に、埴原先生から先生方も合唱に加わったかどうかとアドバイスもありましたが、そのことを生徒に投げかけたところ、自分たちの力だけでやってみるという返事がありました。合唱の出来栄としては人数が増えた方が良いのかもしれませんが、生徒たちの「自分達の力で」という気持ちに期待して先生は入らないことにするといったこともありました。

白峰祭で中学生が取り組む合唱・演劇・太鼓はどれも表現活動といわれるものです。「上手・下手」「成功した・失敗した」といったことよりも、曲やセリフを通して自分を表現することで、自己存在感を感じてもらいたいと思っています。

白峰祭で中学生が取り組む合唱・演劇・太鼓はどれも表現活動といわれるものです。「上手・下手」「成功した・失敗した」といったことよりも、曲やセリフを通して自分を表現することで、自己存在感を感じてもらいたいと思っています。

☆英語の読み聞かせをしました

10月30日(木)の朝の時間を利用して小中合同英語活動(絵本の読み聞かせ)が行われました。今回は「Goodnight, Gorilla」という絵本を取り上げました。この絵本に

はあまり文章がありません。そこで中学生が絵を題材にして一緒に数を数えたり質問をしたりすることで、小学生の関心を高め楽しめるように工夫していました。

英語活動というと流暢に英語を話すことや適切な発音ができなければいけないと思いがちですが、まずはやってみようとする、やったことで相手が反応してくれたことを楽しいうれしいと感じることが大切だと思います。そうした視点で見ると今回の読み聞かせは、低学年の児童が質問にしっかり答えてくれたこと、高学年の児童に中学生として見本を示せたこと、そして自分たちがしたことによって周囲が反応したり拍手をもらえたりしたこと等、とてもポジティブな意味があったのではないかと感じました。



歌声が校舎の中に響きました



小学生の反応がとてもよかったです

☆おめでとう！

税についての作文で入選

夏休みの選択課題のひとつであった甲府税務署管内納税貯蓄組合連合会主催、中学生の税についての作文に応募した3年生笠井さんの作文が、「甲府税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞」を受賞しました。おめでとうございます。

受賞した作文は「森林環境税」について取り上げ、林業が抱える問題や森林の環境維持の必要性和自分が芦安中で体験した学校林整備や全校登山のことを結び付けて書かれていました。身近にある税金について関心を持ち、その目的が自分の生活に結びついていることに気づくことができた様子が伝わってきて、感心させられました。また、芦安中の特色として取り組んでいる自然体験活動が、生徒の中に着実に残っていることをうれしく思います。



☆芦安小中白峰祭が実施されました

11月7日(金)の午後、保護者や学校運営協議会、地域の方たちをお招きして芦安小中学校合同の白峰祭を実施しました。当日は多くの保護者、地域の方に参観していただきました。ありがとうございます。

今年の白峰祭のテーマは「結色(けっしょく)～みんなが楽しく、輝く笑顔で芦安に響かせよう～」。このテーマに向けて小学生は合唱と合奏、中学生は演劇と合唱、小中学生合同で太鼓に取り組んできました。また、児童会生徒会本部の児童生徒は、これらの練習と並行して会の運営などにも取り組んできました。

中学生の演劇と合唱

中学生の演劇は「現代版竹取物語～姫のホンモノ～」という創作劇でした。古典の竹取物語を元に、小学生が見てもわかりやすく楽しめるようにと生徒たちが現代風オリジナル台本を作成して、ひとりひとりが精一杯の演技をしてくれたのではないかと思います。

芦安中の演劇は、伝統的に



全員に出番があります。そうしたことを苦手と感じている生徒もいましたが、「やらない」という選択ではなく「どうすればできるか」をみんなで考え、お互いに納得できる形で全員が参加できたことは大きな学びであったように思います。

合唱についても、例年は劇と切り離れた発表でしたが、今年は劇の内容と関連を持たせたいから続けて歌えるようにしようと考え、劇のエンディングとして歌いました。9名と少ない人数ですが生徒たちは自分たちの気持ちを届けようと頑張りました。

小中学生合同の夜叉神太鼓

太鼓活動は、1学期から約20回の練習を経ての発表となりました。地域の伝統として子供たちに引き継いでいってほしいという地域の願いを受け、取り組んできました。今年はこれまで取り組んできた「勇気」という曲に加え、児童生徒がつくったフレーズをもとに講師の先生が作曲してくださいました。「みんなの太鼓」という曲にも取り組み、2曲を発表することができました。

中学生の展示

総合的な学習の時間や美術、技術等の授業で取り組んだ作品や文化部の生徒が取り組んだ作品が展示されました。作品にはそれぞれの生徒の個性が出ていたように思います。

保護者・地域のみなさまへお願い

- ①児童生徒は、多くの方にご覧いただいたことで、新たな意欲を持つことができました。今後、児童生徒に会う機会がありましたら、感想等を伝えていただけるとありがたいです。
- ②白峰祭の様子を写真や動画で撮影した方は、個人情報やプライバシー保護の観点から、不特定多数の人が閲覧できるSNS等への投稿を控えるようお願いいたします。





芦安中学校だより

第 14 号

校長 大石 浩雄

2025. 11. 27

いよいよ本格的な冬が近づいてきました。この季節、芦安中の校舎は日光の当たる時間が短くなり、冷え込むことが多くなります。学校でも暖房をしています、ジャージや制服の中に一枚余分に着る等の寒さ対策をお願いします。また、感染症も流行っています。体調が悪いときは無理に登校せず、病院で受診をする等の対応をお願いいたします。

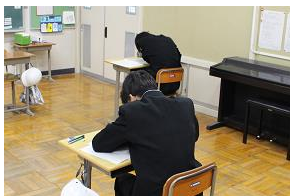
☆芦安小中学校説明会がありました

11月12日(水)の午前中に市教育委員会による芦安小中学校 R8 年度転入学希望者への説明会が行われました。芦安地区以外の地域から転入学を希望する児童生徒とその保護者を対象にした説明会です。説明会の中では、小中学校の授業の様子を参観してもらい、小中合同活動の様子を紹介するひとつとして太鼓演奏も行われました。来年度から仲間となるかもしれない人たちに向けて、自分たちの姿を通して芦安中学校の良さを伝えようと、生徒たちは一生懸命取り組んでくれました。



☆第2回教達検を実施しました

11月13日(木)に3年生の第2回教育課程到達度確認検査を実施しました。受検した生徒は、自分の進路に関わる大切な事との自覚を持ち、真剣に取り組んでいました。今回と前回の2回の結果をもとに3年生は進路についての判断をすることになります。自分の将来に向け納得できる選択をしてもらいたいと思います。また、1・2年生についても1年後2年後を見通して、少しずつ自分の将来について考え、今やるべきこと、やっておいたほうがよいことに取り組む機会にってもらいたいと思います。



☆小中合同英語活動 (イングリッシュゲーム)

11月14日(金)の午後に市内の学校に勤務する6名のALTの先生方に協力していただき、小中合同英語活動(イングリッシュゲーム)を実施しました。この活動では小中学生が縦割りグループに分かれ、4種類のゲームに挑戦することになります。中学生はグループをまとめ小学生をサポートしながら、英語を使ったゲームを楽しんでもらえるようにします。



本校には小中合同の活動が多くあります。それぞれの活動でいろいろな目的がありますが、共通しているのは中学生としてどのようにふるまうのかを体験しながら学ぶということです。今回、校長の私は残念ながら出張が重なってしまい直接その様子を見ることができなかったのですが、中学生が小学生をリードして活動する場面が多く見られたとの話を聞きました。生徒たちの着実な成長をうれしく思います。

☆焼き芋体験と輪かんじきづくり

11月18日(火)に学校農園サポーターのみなさんのご協力で焼き芋体験を、芦安FCの方を講師にして第2回輪かんじきづくりを行いました。

焼き芋体験については、10月に学校農園で収穫したサツマイモとふれあいの森整備で集めた薪を使って行いました。午前中からサポーターの方を中心に、たき火を起こしてもらい焼き芋にしました。帰りの会終了後、出来上がった焼き芋をみんなで話しながら食べました。



輪かんじきづくりは、前回曲げた枝を組み合わせ輪にした部分に、雪に食い込ませる歯の部分をつけたり、足を乗せるひもを張ったりする作業をしました。

初めての作業ばかりで難しかったところもあったようですが、3年生は講師の方の説明をしっかりと聞きながら集中して作業に取り組むことができていました。



マンツーマンで指導してくれました

どちらの活動についても、地域の方の協力のおかげで、生徒たちが貴重な体験をできています。ありがとうございます。このようにいろいろな形で地域の方に大切にされた記憶は、きっと心のどこかに残り、生徒の人格により影響を与えてくれるのではないかと思います。

☆県中学生英語暗唱大会で 2位入賞

11月18日(火)に県内8地区の予選を勝ち上がった生徒による県中学生英語大会が行われました。この大会に中巨摩地区の代表として本校2年の根本さんが出場しました。各地区の代表ということでハイレベルな内容の大会だったそうですが、その中で根本さんがみごと2位(会長賞)に入賞しました。おめでとうございます。10月に行われた中巨摩地区大会を勝ち抜き、県で2位となることは簡単なことではありません。毎日の生活の中で積み上げてきた成果が表れたのだと思います。この経験をいかして今後いろいろな場面で活躍してくれるとよいと思います。



受賞者で記念撮影

「継続は力なり」と言われます。言うのは簡単ですが、実際に物事を継続することは簡単なことではありません。目標を見つける力、粘り強く続ける力、困難を乗り越える工夫をする力等いろいろな力が必要になります。生徒たちが将来よりよく社会で生きていくために、こうした力を伸ばしていけるようにしていきたいと思います。

☆登山道整備と学習会に参加して

11月24日(月)に芦安FCが呼びかけた芦安一夜叉神峠登山口の登山道(旧道)の整備と学習会に参加してきました。当日は芦安FCの方以外にも地域の住民や駐在さん、小学生とその保護者さん等、約30名が集まり活動しました。道に積もった落ち葉をどける、道を広げる、目印をつける、階段や段差の修繕、道にかかる倒木の処理などの整備をしながら旧道を進み、所々で学習会をしました。学習会で



階段部分の整備の様子

は、そこにあった史跡や旧道が使われていた時代から現在の林道がつくられるくらいまでの歴史について学ぶことができました。この活動に参加することで、みなさんが芦安という地域を大切に思う気持ちをあらためて感じました。また、芦安中学校は、芦安FCの方をはじめ地域の方にお世話になることが多いです。こうした機会をいかして貢献することもいいのではないかと思います。

☆期末テストと 2学期末の到達度確認検査

11月25日・26日の2日間で2学期の期末テストが実施され、生徒は真剣に問題に取り組みました。今回は試験直前に3連休があり、時間的に余裕もあったようです。その時間的な余裕をどのように使ったのか、点数という結果ばかりに意識が行ってしまわないようにして、これまでの学習への取り組み方など、過程に目を向けて振り返り、よかったこと改善したほうがよいことを考えることができるとよいと思います。



真剣に考えていますね

社会に出たとき、テストの点数が何点だったということが直接必要になることはほとんどないでしょう。ただ、前段で書いたような「結果をもとに過程を振り返り改善する」という行動ができることは大切な力です。12月2日(火)には、中学入学以降の内容全体の振り返りとなる到達度テストがあります。テストが続いて大変かもしれませんが、生徒たちには期末テストの経験をいかして、自分自身を成長させる機会になるようにしてほしいと思います。

☆美化活動でビオラを植えました

11月26日(水)の午後、南アルプス市からいただいたビオラをプランターや植木鉢などに植えました。花壇に植えることも考えましたが、気温が低くなりすぎることや日射量が乏しい、シカによる食害が心配といった理由で鉢植えという形を選択しました。

大きなプランターについては、校庭よりも日当たりのよい2階教室のベランダで、小さな鉢に植えたものについては教室の南側窓際で世話をしていくことになります。生徒たちには、今回のビオラを大切に世話してもらい、そのことを通して生き物に対する優しさ、世話する大変さなど、いろいろな事を経験してほしいと思います。

